

ぷらっとふおーむ通信

Ver. 56

発行

2025年2月



豆まきの由来

2月2日は節分です。節分は、春の始まりの日である「立春」の前日であり、冬と春の境目となる日です。太陰太陽暦が使われていた昔は、立春が1年の始まりの日とされていたため、前日の節分の日は今現在言う「大晦日」のような、重要な日とされていたのです。

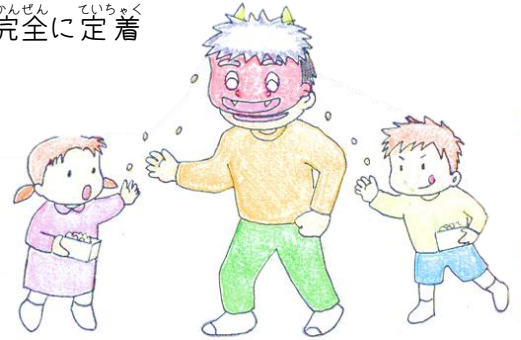
この日は、邪気や魔物などの悪いものが家の中に入り込みやすい日でもあると考えられていました。

この考え方は、奈良時代に中国から伝わった「追儼=ついな・おにやらい」と呼ばれる、貴族が宮中で鬼に扮した家来たちを追いかける行事が元になっていると考えられます。

一方で、日本には古い時代から、米や大豆などの穀物を使ってお清めやお祓いをする風習があり、特に粒が大きい大豆は「魔滅=まめ」の語呂と合わせて、魔物の目にぶつけて退治するのに最適とされていました。

これらの考え方が合わさって、江戸時代には節分の豆まきの風習が完全に定着したと言われています。

大豆を炒った「福豆」を使うわけ
→「炒る」は悪いものを「射る」に通じて縁起が良い・生の大豆は、拾い忘れて芽吹くと「邪気が芽を出す」ので縁起が悪いとされる



鬼(煩悩)が現れる夜に、玄関から一番遠い奥の部屋からスタートし、玄関をゴールに!



(お知らせ)

やさしい日本語講座

- 日時：2月19日(水) 13:30~16:00
- 対象者：大阪府内で外国人支援や福祉医療保育に関わる方・社協職員・行政職員・やさしい日本語に関心のある住民
- 場所：泉佐野市立南部市民交流センター 1階ホール(南中樫井476-2)

★やさしい日本語とは★

もももとは外国人向けに始まった、文法や言葉のレベルや文章の長さを、わかりやすく工夫した日本語。ポイントを意識して多くの人に伝えることができる“やさしい”コミュニケーションをめざします。

[申込み] 定員60名(先着順)

*2月12日(水) 17時締切り

グーグルフォームにて申込み

⇒<https://forms.gle/n2Af19ynGniJ5fgM9>



予告

就労準備支援講座

イー
eスポーツを
体験してみよう



3月10日(月)
13:30~15:30

シャッピーハウス
にて

豆まきのことを調べてみると、ホンマに語呂合わせが好き民族やなあ…と。

前回のりれーしょんで、イラストを描き合うコマがあり、みなさん結構素敵な絵を描くことが判明!

今回の節分のイラストは、参加者のおひとりが描いてくれました★ ありがとうございます♡

シャッピーのイラストもいただきました↓



基幹包括支援センターいずみさの

〒598-0002 泉佐野市中庄1102社会福祉センター内

☎072-464-2977 担当/印具・坂本(直)

(土日祝以外の8:45~17:15まで)

Mail/kikan@izumisanoshakyo.or.jp